

## 海岸林再生プロジェクト 10 年計画 事業報告

(宮城県名取市)

### 【事業コンセプト】 7つのシステムを確立。

1. 官民協働の大規模協定締結 (県内海岸林復旧対象約 1,100ha のうち、名取市約 100ha)
2. 大規模苗木供給体制 (宮城県内必要本数 600 万本中、生産目標 50 万本)
3. 地元に雇用創出 (2033 年までに約 11,400 人の雇用計画)
4. 効率的な一貫施業の実施体制 (育苗～植栽～育林)
5. 低コスト林業(「苗半作」。自家生産の優良苗は、あらゆる観点で購入より低コスト)
6. 市民参加の実現(全国ボランティア累計 10,000 人突破・リピート率 4 割)
7. 民間活力・民間資金導入 (民間寄附金・助成金のみによる事業。目標額 10 億円)

### 【実績総括】

#### ●協定締結面積：103.05ha 名取市海岸林全長 5 km

内訳：国有林：2.91ha、県有・市有林・共有林：96.4ha、内陸防風林共有林等：3.74ha

\*2020 年 5 月、新規治山事業(県)北釜地区 6.42ha(植栽対象 3.75ha)を追加協定した。

#### ●植栽面積：72.46ha

\*協定区域の生物多様性配慮ゾーン・自転車道・作業道・盛土法面・防風垣個所は植栽できない。

\*育苗場初播種は 2012 年 3 月。2 年の育苗を経て、初植栽は 2014 年 4 月。

\*2018 年 5 月、名取市海岸林全長 5 km はクロマツでつながり、復旧対象(国事業)植栽完了。

\*2020 年 5・10 月、新規治山事業(県)として北釜地区旧宅地・乗馬場跡 3.75ha に植栽完了。

#### ●植栽本数：370,198 本

\*宮城県産マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ・精英樹クロマツ

\*広葉樹 10 種・671 本(ケヤキ・コナラ・ヤマザクラ・オオシマザクラ・ウワミズザクラ・クリ・エノキ等)

#### ●活着率：過去 7 年平均 99.2%

#### ●総雇用総数：9,103 人 \*8 時間/日人・2020 年 12 月末現在

\*育苗、植栽、育林で、2033 年までに約 11,400 人の雇用計画に対し、計画比 1.2 倍の雇用数で推移

#### ●ボランティア：のべ 11,592 人 \*2020 年 12 月末現在

\*リピーター 5：初参加 5、男性 7：女性 3、県外 7：県内 3、企業・団体申込 8：個人 2

#### ●寄附金・民間助成金等総額 809,865,728 円 \*2020 年 12 月末現在

\*2021 年～2033 年の育林の費用等として積立を開始。現時点で大量枯死など予想外の支出もなく、取崩もなく計画通り積立実行中。2020 年 3 月末現在の積立総額は 281,210,781 円。目標金額は 3 億円以上で、積立金取り崩しにより第 3 次 10 年計画に及ぶ本数調整伐等で活用する。

\*積立金の正式名称「特定費用準備資金」とは、公益法人が、実施機関や内容などが明確な事業に対

【更新】2021.1.12 名取市海岸林再生の会／公益財団法人オイスカ

し、将来の計画的な実施のために積み立てる資金。内閣府に提出した計画に基づいて積立を行う。

【実績総括表】

(2020.12.31 現在)

		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	累計実績	
育苗	播種数	-	97,500	72,500	87,250	89,856	96,400	57,000	45,800	3,000	3,000	552,306	粒
	発芽率	-	95	91	94	94	91	96	95	87	93	93.3	%
植栽	面積	-	-	-	15.67	10.06	11.00	13.66	16.32	2.00	3.75	72.46	ha
	本数	-	-	-	80,182	55,084	56,037	71,945	81,600	6,000	19,350	370,198	本
	活着率	-	-	-	98.4	98.0	98.3	99.8	99.8	100.0	100	99.1	%
雇用	雇用人数	-	187	658	1,402	1,150	1,274	1,469	1,329	979	655	9,103	人
市民	ボランティア	-	-	262	1,365	1,691	1,800	2,096	2,273	1,892	270	11,649	人
	視察人数	263	580	837	567	577	168	231	132	44	14	3,413	人
	活動報告会	523	4,772	5,900	4,692	4,996	3,893	5,911	4,178	3,347	913	39,125	人
	報告会開催	4	43	28	30	30	26	30	22	24	4	241	回
	メディア紹介	24	39	27	33	38	20	23	21	7	15	247	回

【今後の見通し】

○2020年度以降の育林計画

2021年4月から第二次10ヵ年計画を始動、第三次10ヵ年計画まで育林に関わる目標であり、資金は積立金（特定費用準備資金）等を活用する。2021年以降続く育林として、数年間は下刈が残り、断続的に続くものは、排水溝修復・増設、つる切り・除伐、クロマツ除間伐、本数調整伐（間伐）、作業道維持管理、ゴミ拾い、生長モニタリング調査、本数調整伐試験、マツクイムシ被害防止対策、定期巡視、各種啓発活動等。

○第一次10ヵ年計画終了時に関して

2021年にオイスカは創立60周年を迎え、SDGsの趣旨に添い、ECO-DRR（森林など生態系を活用した防災・減災）を念頭に置いた国際的プロジェクトの一端として、海岸林再生プロジェクトを位置づける。2021年度予定の「第二次10ヵ年計画発会式（仮称）」の際、名取市海岸林再生の会は石碑（平成の「愛林碑」）、オイスカはプロジェクトの説明看板（南北2ヵ所）を設置予定。（※国としての「民有地直轄治山事業」5市町合同の返還式は2021年2月予定）。

○募金受付に関して

2021年3月末をもって積極的な寄附呼びかけは予定通り終了する。しかし、今後も事業は継続し、助成金収入・寄付金希望も予想されるため、寄付金受付口座は閉鎖しない。

## 1. 2011年度の事業実績

公益財団法人オイスカは、壊滅的被害を被った海岸林の再生に関し、行政が立案する復興計画そのものに協力したいとして、2011年3月17日に、皆川芳嗣林野庁長官（当時）に申し出を行い、4月21日に航空調査、5月24日に国・県・森林組合・種苗組合との初協議、同日、名取市北釜地区住民との初協議、陸上踏査を開始。

具体的には、海岸林の再生に自ら参画したいと希望した名取市の被災農家とともに育苗を行い、市内海岸林約100haに必要な苗木の提供、植林、下刈り等保育までを行うことにしており、2011年から10カ年の計画で、クロマツ苗木の不足対策と雇用対策を兼ねて、育苗～植栽～育林の「一貫施業」を目指す計画を立案。そして、クロマツ苗木生産の実施体制を整えるべく、林業種苗法に基づき、「山林種苗生産事業者登録講習会」開催を県に働きかけ、代表11名が受講、宮城県農林種苗農業協同組合より加盟承認を受け、県への登録を経て、無事に種子の払い下げを受けた。2012年2月に「名取市海岸林再生の会」（被災農家32名）を立ち上げ、3月30日初めての播種に至り、2年後の植栽に向けて育苗をスタート。

## 2. 2012年度の事業実績

### ① クロマツ種子の播種量（畑直播）

抵抗性クロマツ	0.5kg (22,500粒)	*宮城県産マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ
普通クロマツ	1.5kg (75,000粒)	
計	2.0kg (97,500粒)	発芽率 95%

\*初播種から28日後に発芽確認。年に2回の県生育調査でも最高水準を保った。

### ② 床替え（稚苗移植） 抵抗性クロマツ 1,000本

### ③ 総雇用数 187人

## 3. 2013年度の事業実績

播種後1年経った苗を床替えするとともに、新たな播種を行う。県の生育調査でも最高水準を維持。2013年9月、林野庁「民有地直轄治山事業」による海岸林植栽基盤造成工事が、名取市では他地区に先駆け大規模に完成。同月、市議会にて海岸林・内陸防風林の再生について討議され、「オイスカに託したい」との地元の意向が改めて明確にされ、2014年2月13日、宮城県・名取市・再生の会・オイスカは名取市内「県有林・市有林・共有林・私有林」89.98ha、および「国有林」2.91haに関する国・オイスカとの整備協定を締結し、市内合計92.89haの行政手続きが整った。

### ① クロマツ種子の播種量

抵抗性クロマツ	0.5kg (22,500粒)	コンテナ播種
普通クロマツ	1.0kg (50,000粒)	
計	1.5kg (72,500粒)	発芽率 91%

### ② 床替え

抵抗性クロマツ	20,000本
普通クロマツ	70,000本

【更新】 2021.1.12 名取市海岸林再生の会／公益財団法人オイスカ

計 90,000 本

③ 総雇用数 658 人

#### 4. 2014 年度の事業実績

宮城中央森林組合作業班・再生の会・諸関係者への造林講習会を経て、4月28日より植栽を開始。連休を挟み5月30日に完了。被災地名取市民・宮城県民を最優先に第1回植樹祭を開催し、350名が1haに5,000本を植栽。その後、ボランティア受け入れを本格的に開始。雇用・ボランティアともに本格展開。高い活着率・生育率を維持し、好成績は低コストにつながり、育苗部門・造林部門ともに大事業ながら、極めて順調に展開した。

① 播種量 下記全てコンテナ播種。今年度からは露地直播きは行わない。

抵抗性クロマツ 0.65kg (29,250 粒)

普通クロマツ 0.50kg (25,000 粒)

抵抗性アカマツ 0.35kg (33,000 粒) (1 穴 2 粒播種)

計 1.5kg (87,250 粒) \*発芽率 94%

② 床替え

普通クロマツ 45,000 本

抵抗性アカマツ 4,000 本 計 49,000 本

③ 自家生産で出荷した苗木数 (基準を満たした苗木)

普通クロマツ普通苗 35,750 本

抵抗性クロマツ普通苗 9,000 本

広葉樹 (クリ・コナラ・ヤマザクラ・ケヤキ) 432 本

計 45,182 本

④ 植栽・施肥面積

国有林 2,77ha

市有林 12.90ha (秋植え 0.70ha)

計 15,67ha 80,182 本 (うち秋植え 3,500 本)

活着率 98.4% 補植 (秋) 1,500 本

⑤ 雇用数 (育苗・植栽・保育) 1,402 人

## 5. 2015 年度の事業実績

### ① 植栽面積

海岸林	7.90ha (市有林)	*春植え
	0.30ha (市有林)	*秋植え
内陸防風林	1.86ha (共有林)	⇒今年度追加協定
合計	10.06ha	

\*内陸防風林追加協定により、当プロジェクトの整備協定総面積は 94.74ha に増えた。

### ② 植栽本数 (自家生産で出荷した苗木数) \*活着率 98.0%

精英樹クロマツ	普通苗	23,770 本	
抵抗性クロマツ	コンテナ苗	20,760 本	
抵抗性アカマツ	コンテナ苗	3,750 本	*岩手県産、内陸防風林秋季補植
抵抗性アカマツ	普通苗	6,500 本	*岩手県産 内陸防風林用
広葉樹		304 本	*ウワミズザクラ、オオシマザクラ、ケヤキ
合計		55,084 本	

### ③ 播種量 クロマツ 1.68kg (89,856 粒) \*すべてコンテナ播種。発芽率 91%

・宮城県産 抵抗性クロマツ	0.65kg (30,072 粒)
・宮城県石巻市網地島産 精英樹クロマツ	0.14kg (9,432 粒)
・宮城県産 精英樹クロマツ	0.25kg (10,344 粒)
・香川県産 抵抗性クロマツ	0.12kg (6,528 粒)
・岡山県産 抵抗性クロマツ	0.57kg (33,480 粒)
・広葉樹 (気仙沼産ツバキ) *内陸防風林用	3kg (2,490 粒)

### ④ 床替え

精英樹クロマツ	4,720 本
抵抗性クロマツ	3,100 本
挿し木抵抗性クロマツ	1,000 本
合計	8,820 本

### ⑤ 2年生コンテナ苗

抵抗性クロマツ	26,318 本	
精英樹クロマツ	19,855 本	
抵抗性アカマツ	16,374 本	
合計	62,547 本	*4年連続、県内得苗率トップ。

### ⑥ 総雇用数 (育苗・植栽・保育) 1,150 人

## 6. 2016年度の事業実績

### ① 植栽面積・本数

海岸林（県・市有林）	9.12ha	48,807本	
内陸防風林（市有林）等	1.88ha	7,230本	⇒追加協定
合計	11.00ha	56,037本	*活着率 98.3%

\*追加協定により、当プロジェクトの協定面積は 96.62ha に増えた。

### ② 植栽・出荷本数内訳

宮城県産精英樹クロマツ	裸苗	3,100本	
宮城県産精英樹クロマツ	コンテナ苗	17,207本	
宮城県産抵抗性クロマツ	コンテナ苗	25,320本	
岩手県産抵抗性アカマツ	コンテナ苗	11,605本	(うち販売 3,745本)
岩手県産抵抗性アカマツ	裸苗	2,550本	
合計		59,782本	

### ③ 播種量 \*全てコンテナ播種に移行した。露地直播は行わない。

宮城県産抵抗性クロマツ	1.20kg	53,000粒	
香川県産抵抗性クロマツ	0.50kg	26,400粒	
徳島県産抵抗性クロマツ	0.30kg	17,000粒	
合計	2.0kg	96,400粒	*発芽率 94%

### ④ 2年生コンテナ苗

宮城県産抵抗性クロマツ	25,500本
香川県産抵抗性クロマツ	5,500本
岡山県産抵抗性クロマツ	28,500本
網地島産抵抗性クロマツ	8,000本
宮城県産精英樹クロマツ	8,800本
合計	76,300本

### ⑤ 総雇用量（育苗・植栽・保育） 1,274人

\*育苗部門は 100%コンテナ苗移行により省力化

\*2016年度 宮城県山林種苗品評会で最優秀賞を受賞した。

## 7. 2017年度の事業実績

### ① 植栽面積・本数

海岸林（県・市・共有林） 13.66ha 71,945本 **\*活着率 99.8%**

### ② 植栽本数内訳

宮城県産精英樹クロマツ	コンテナ苗	9,710本	
宮城県産抵抗性クロマツ	コンテナ苗	20,400本	
宮城県産抵抗性クロマツ	コンテナ苗	450本	*挿し木
網地島産精英樹クロマツ	コンテナ苗	8,510本	*宮城県産
香川県産抵抗性クロマツ	コンテナ苗	5,485本	
岡山県産抵抗性クロマツ	コンテナ苗	27,390本	
合計		71,945本	

### ③ 育苗

宮城県産抵抗性クロマツ	コンテナ苗	1.20kg	57,000粒	(発芽率 96%)
2年生コンテナ苗				
宮城県産抵抗性クロマツ		52,000本		
香川県産抵抗性クロマツ		23,000本		
徳島県産抵抗性クロマツ		14,000本		
合計		89,000本		

### ④ 雇用（育苗・植栽・保育） 1,469人

\*名取市海岸林再生の会は全国苗木品評会にて林野庁長官賞を受賞した。

\*「第1回インフラメンテナンス大賞」（6省庁主催）にて農林水産大臣賞を受賞。

\*林野庁仙台森林管理署が2013年から「名取地区生物多様性調査」を実施。それによると2015年現在で植物・樹木412種、昆虫498種、鳥類54種など様々な生物、明らかな種の増加を確認している。環境省や宮城県の「レッドリスト」に掲載されている種も21種。

## 8. 2018年度の事業実績

旧来の名取市海岸防災林の植栽は完了。全長5kmは再びクロマツでつながった。

### ① 植栽面積・本数

海岸林（県・市有林） 16.32ha 79,326本 **活着率：99.8%**

\*苗は宮城県、香川県、徳島県産抵抗性クロマツ

【更新】2021.1.12 名取市海岸林再生の会／公益財団法人オイスカ

② 播種

宮城県産抵抗性クロマツ コンテナ苗 1.0 kg 43,500 粒

宮城県産抵抗性アカマツ コンテナ苗 0.05kg 2,300 粒

45,800 粒（発芽率：95%）

③ 育苗（2年生コンテナ苗）

宮城県産抵抗性クロマツ 49,000 本

④ 保育面積（溝切り・ツルマメ抜取・下刈、ニセアカシア・葛駆除等） **66.71ha**

⑤ 雇用（育苗・植栽・保育） 1,329 人

⑥ ボランティア来訪者 2,273 人

## 9. 2019 年度の事業実績

ボランティア来訪者がのべ 10,000 人を超えた。確実な下刈と溝切りが、植栽木の生存率・生長に、極めて大きな効果を発揮している。

① 植栽 2019 年：2.00ha 6,000 本 \*北釜地区残存林内の林間植栽（3,000 本/ha）

② 育苗 2019 年：87,000 本 \*名取市海岸林向け播種は 2018 年度で終了した。

③ 保育面積 68.71ha

④ 雇用 979 人

⑤ ボランティア来訪 1,892 人

【参考】ボランティアによる「溝切り」（排水路増設・修復）実績

\*L サイズ溝（上部 1m×底部 50 cm×深 70 cm）総延長 2,750m

（2016 年：400m、2017 年：600m、2018 年：600m、2019 年：1,150m）

## 10. 2020 年度の事業実績

2020 年 5 月に北釜地区新規海岸造成地 6.42ha に関して県・市と追加協定を締結。最後の植栽はメディアを通じて全国に放送された。コロナ禍においても、植栽・保育は従来通り安定的に実施し、寄付金収入が 9 月末に 8 億円を突破できた。しかし残念ながら、3 月～8 月のボランティア申込者 1,200 人の来訪受入れを中止した。このほか、国による海岸林復旧事業が今年度で終わるのに伴い、国・名取市とともに返還式イベントとして市役所庁内、JR 名取駅、図書館での写真展の開催、広報なとりでの啓発などを実施し、宮城県による防災林検討会に委員として、海岸防災林管理指針の策定にも参画した。なお、これまで 10 年の記録として、ドローン撮影などの各種動画記録のほか、雑誌「水利科学」（No.375 号）に「名取市海岸における海岸林再生植林等の取組み」（執筆：名取事務所統括 佐々木廣一氏）、書籍「松がつなぐあした」（著者：元日本経済新聞論説委員 小林省太様）が出版された。

① 植栽面積 北釜地区 3.75ha（春：1.57ha、秋：2.18ha）

② 植栽本数 19,350 本（春：7,850 本、秋：11,500 本）

③ 保育 全植栽地 72.46ha と盛土法面・作業道の下刈・除伐、葛・ニセアカシア駆除

以 上